

平成29年10月

平成29年 7月 ~ 9月期 実績  
平成29年 10月 ~ 12月期 見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

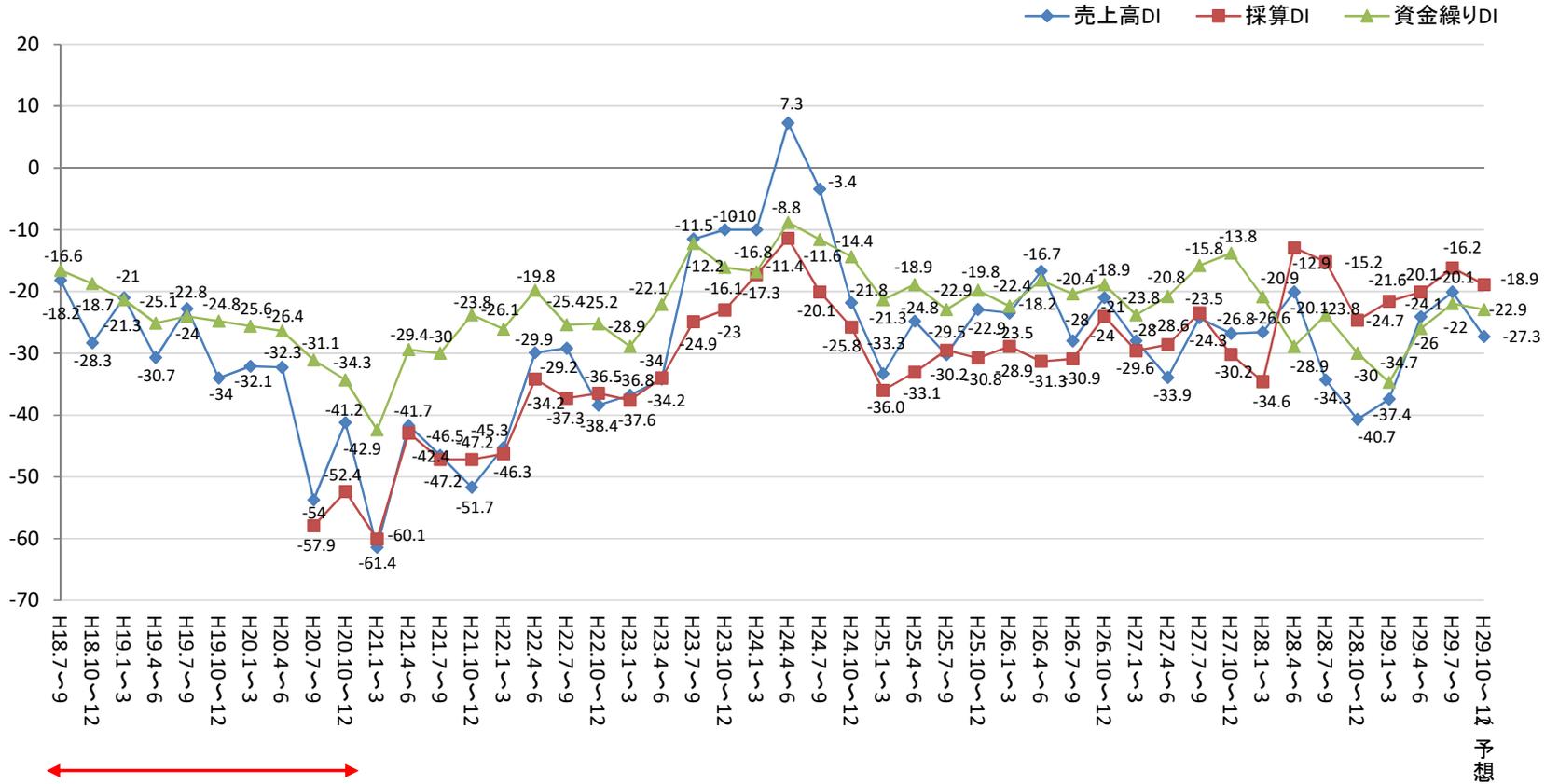
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成27年	平成28年				平成29年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 曇	 曇	 曇	 晴	 雨	 晴	 曇	 薄曇	 曇
小 売 業	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

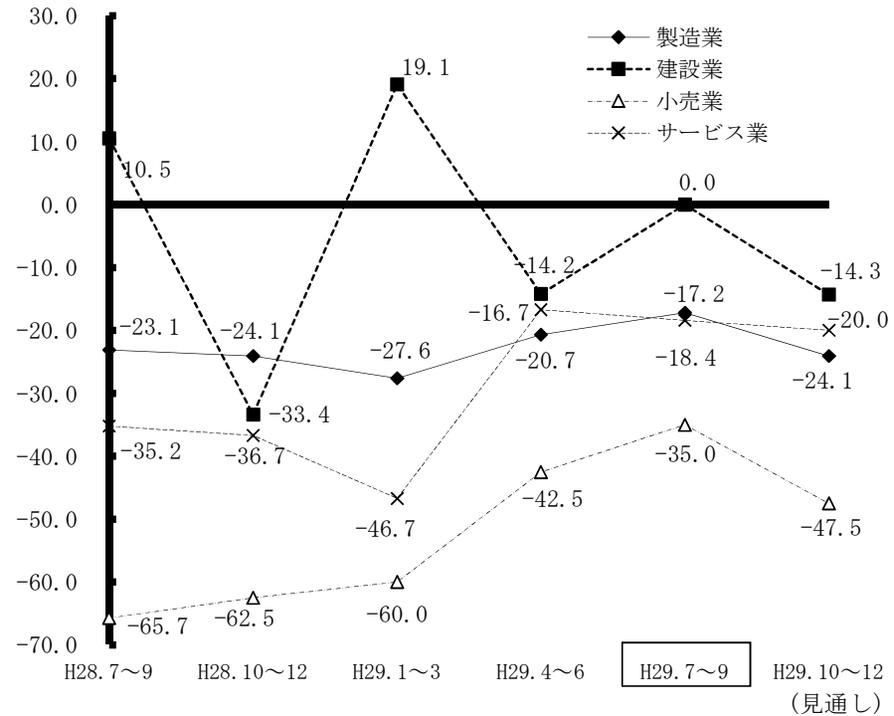
# 全産業の推移

## 売上高

### 製造業、建設業、小売業が上昇 サービス業が小幅に低下

今期は、建設業が14.2ポイント増加して0.0まで改善しました。  
また、製造業が、3.5ポイント増加の△17.2、小売業も7.5ポイント増加して△35.0となり、製造業は2期連続、小売業は4期連続の上昇となりました。サービス業は小幅な低下となっています。

来期は、全業種において低下が予想され、建設業と小売業において低下幅が、やや大きくなる見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

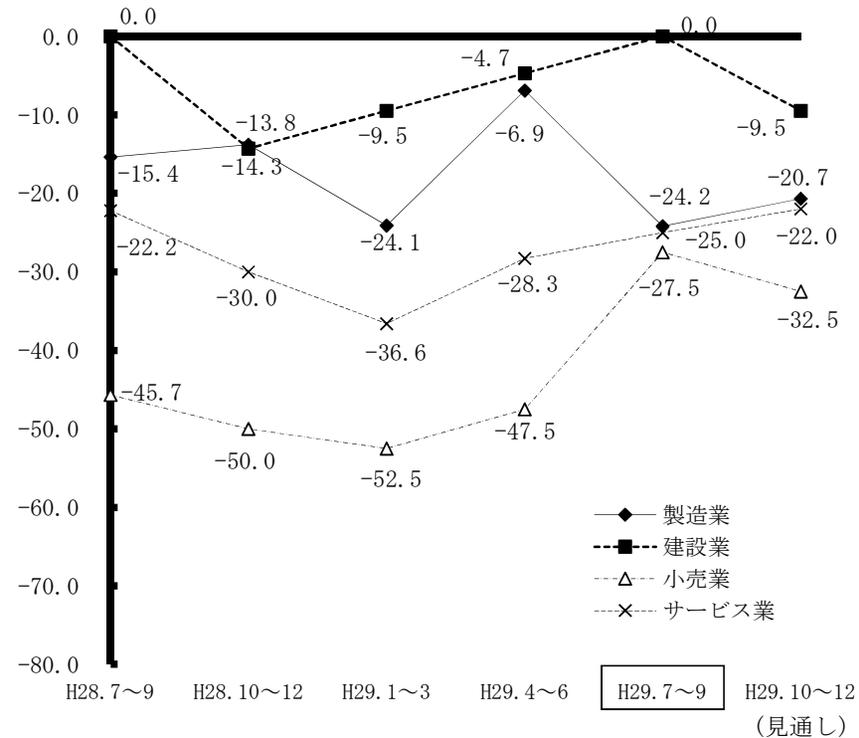
## 採算

### 小売業が大幅に改善、製造業が悪化

今期は、建設業が4.7ポイント増加して0.0となり、3期連続の改善となりました。小売業も20.0ポイント増加の△27.5、サービス業が3.3ポイント増加の△25.0となり、それぞれ2期連続の改善となっています。製造業は17.3ポイント減少して△24.2まで悪化しています。

来期は、製造業とサービス業において改善が見込まれるものの、建設業、小売業においては悪化に転じる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



# 全産業の推移

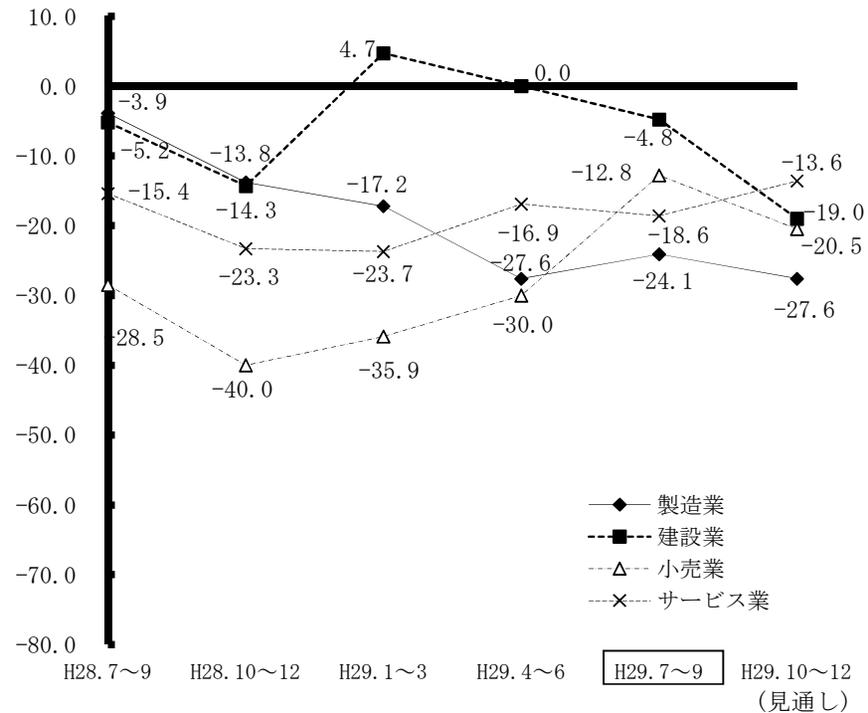
## 資金繰り

**小売業、製造業が改善**  
**建設業、サービス業が悪化**

今期は、小売業が17.2ポイント増加して△12.8となり、3期連続の改善となりました。製造業も3.5ポイント増加し、△24.1まで改善しています。

建設業が4.8ポイント減少してマイナスに転じ、サービス業が1.7ポイント減少の△18.6まで小幅に悪化しています。

来期は、サービス業において改善が見込まれるものの、製造業、建設業、小売業において悪化する見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

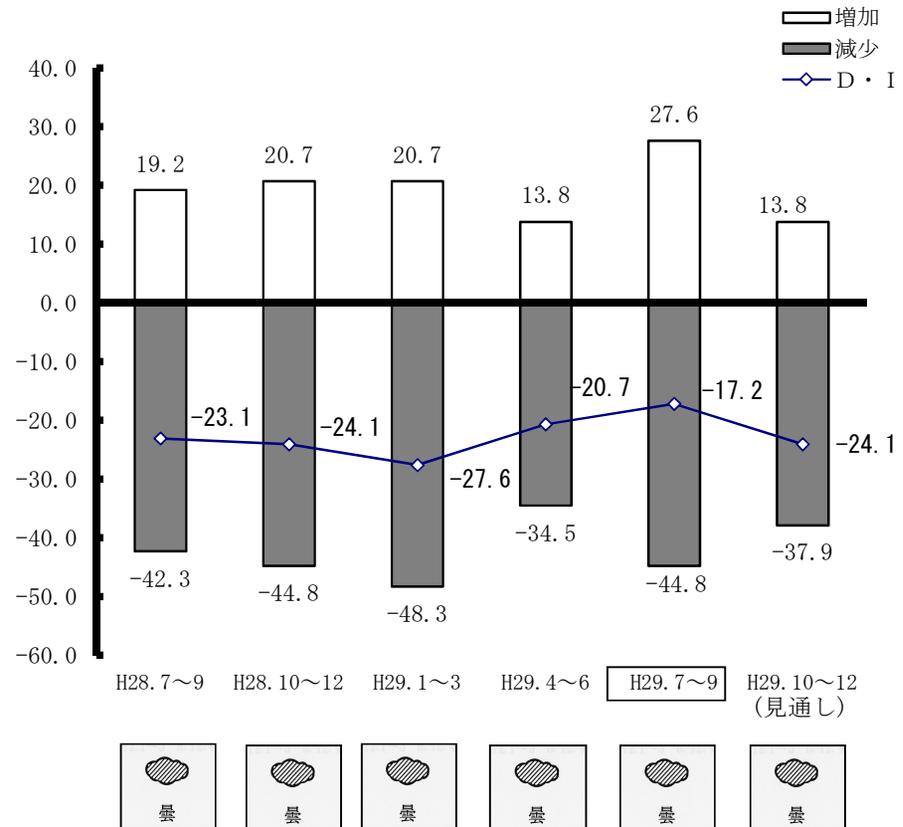


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が増加したものの、売上高減少企業の割合も10.3ポイント増加したことにより、売上高D・Iは3.5ポイントの小幅な上昇にとどまり、△17.2となりました。

来期は、売上高の減少を予想する企業割合が減少するものの、売上高の増加を予想する企業割合の減少幅が大きく、売上高D・Iは悪化に転じ、△24.1まで低下する見通しです。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

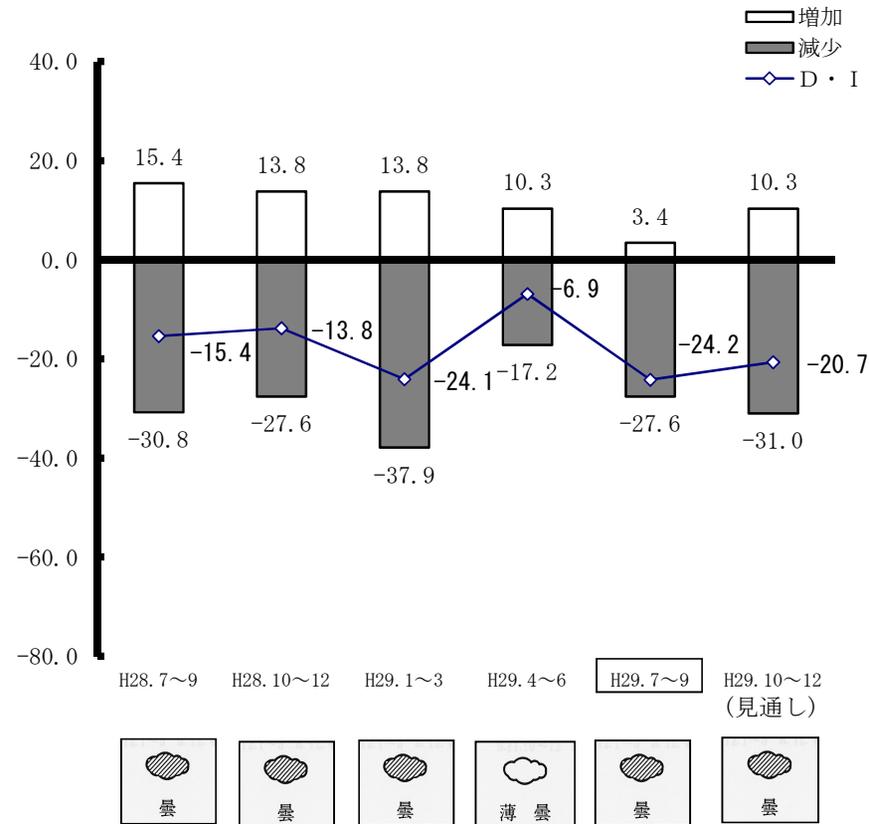


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が減少し、採算が悪化した企業の割合が増加したことから、採算D・Iは17.3ポイント減少して△24.2まで悪化しました。業況天気図も薄曇から曇りへと変化しています。

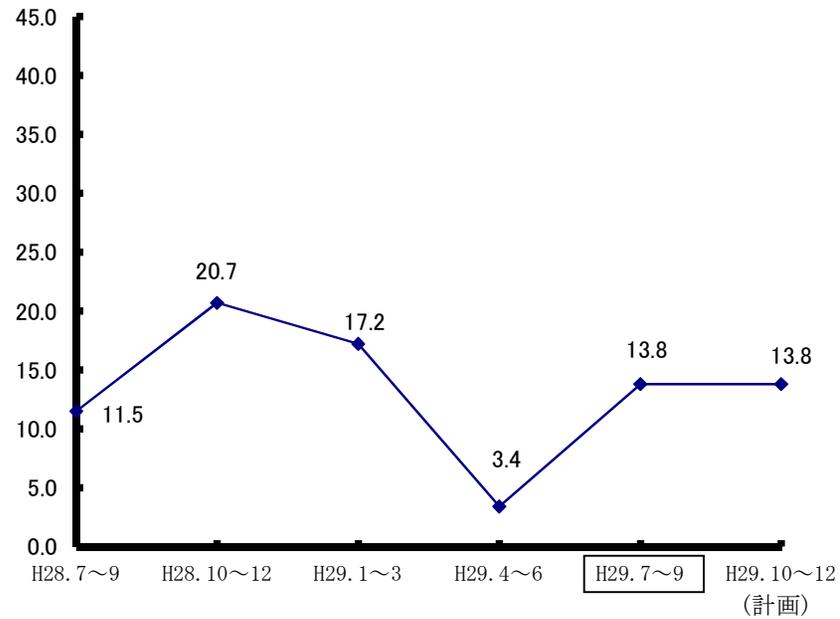
来期の採算D・Iは、採算の悪化を予想する企業割合が増加するものの、採算が改善すると予想する企業割合の増加幅が大きいことから、採算D・Iは上昇する見通しです。



## 設備投資

設備投資を実施した企業数の割合は、2期連続して減少しておりましたが、今期は増加に転じ、13.8まで上昇しました。

来期も、設備投資を実施する企業数の割合は今期と同じレベルとなる見通しです。



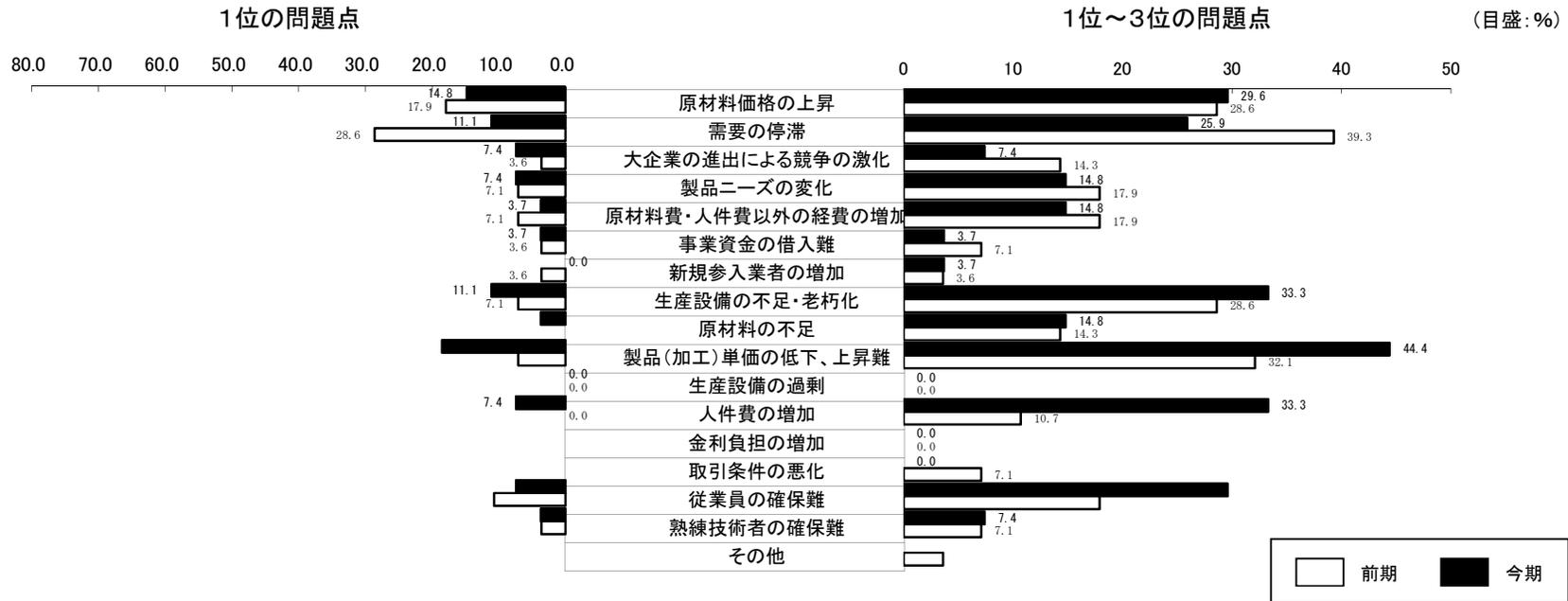
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

# 製造業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 製造業

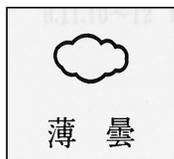
経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

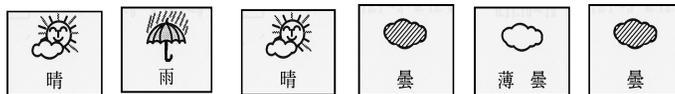
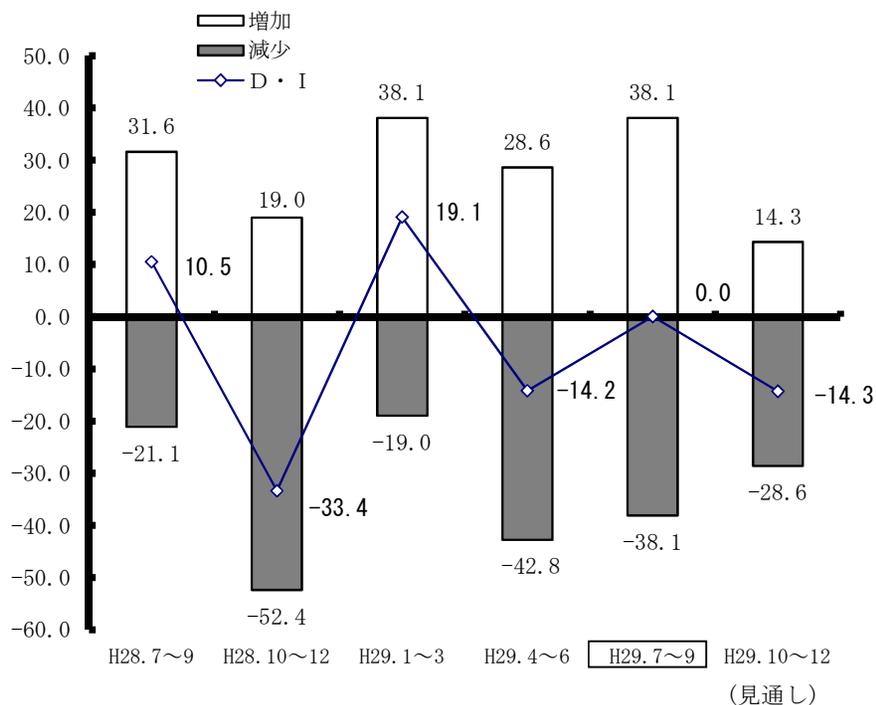


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が増加し、また、売上高減少企業の割合が減少したことから、売上高 D・I は 14.2 ポイント増加して 0.0 まで改善し、業況天気図も曇から薄曇へと変化しています。

来期は、売上高の減少を予想する企業の割合が減少するものの、売上高の増加を予想する企業の割合も、ともに減少すると予想され、売上高 D・I は低下に転じる見通しです。

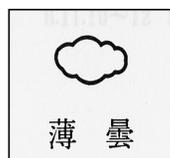


※建設業の売上高は完成工事高

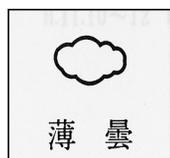
# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

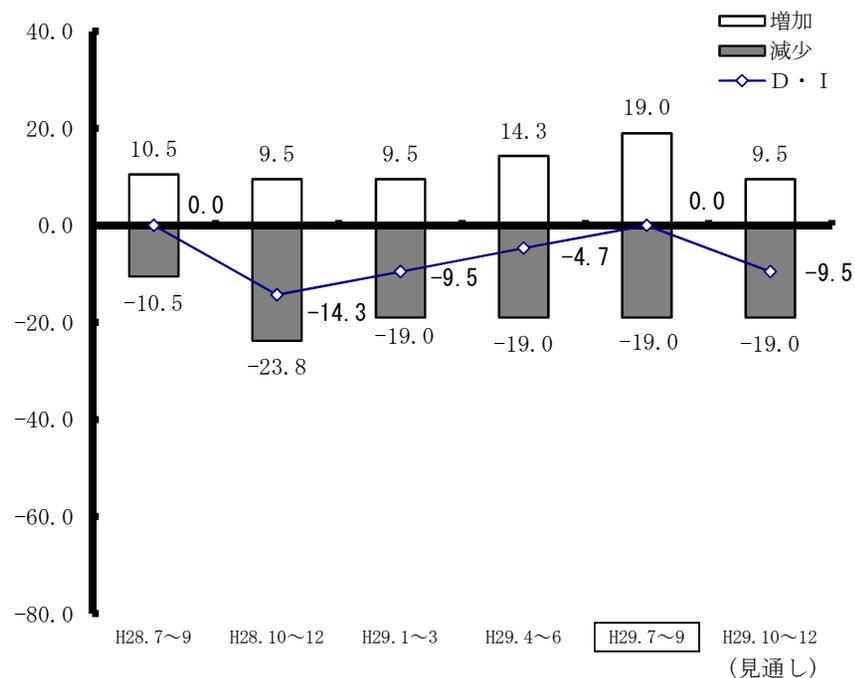


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が4.7ポイント増加し、採算が悪化した企業の割合が横ばいであったため、採算D・Iは3期連続して上昇し、0.0まで改善しました。

来期は、採算悪化を予想する企業は横ばいであるものの、採算の改善を予想する企業が減少することから、採算D・Iは悪化に転じ、△9.5となる見通しです。



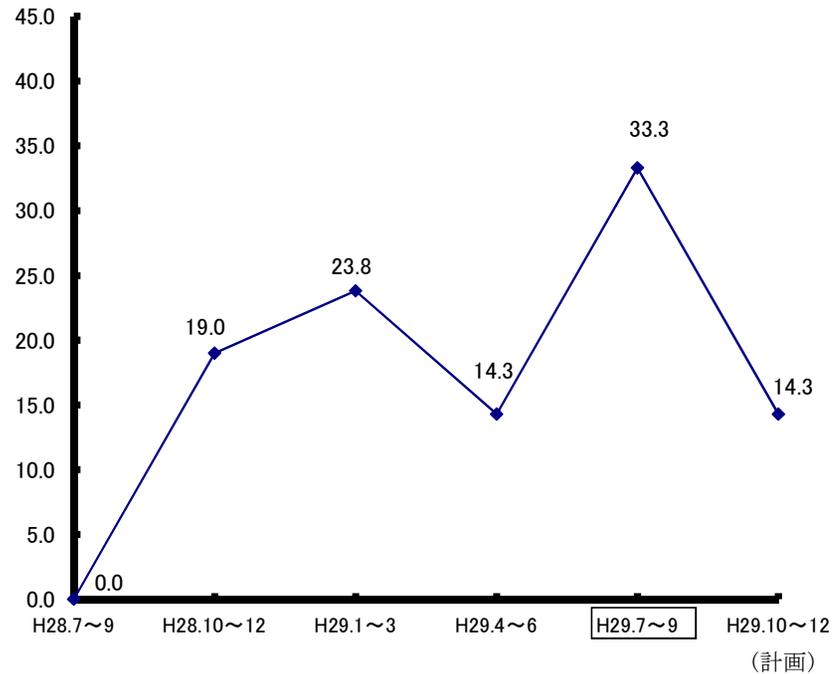
# 建設業の推移

## 設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、大幅に増加し、33.3まで上昇しました。

来期は、設備投資を予定する企業数の割合が再び減少に転じ、前期並みの14.3まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

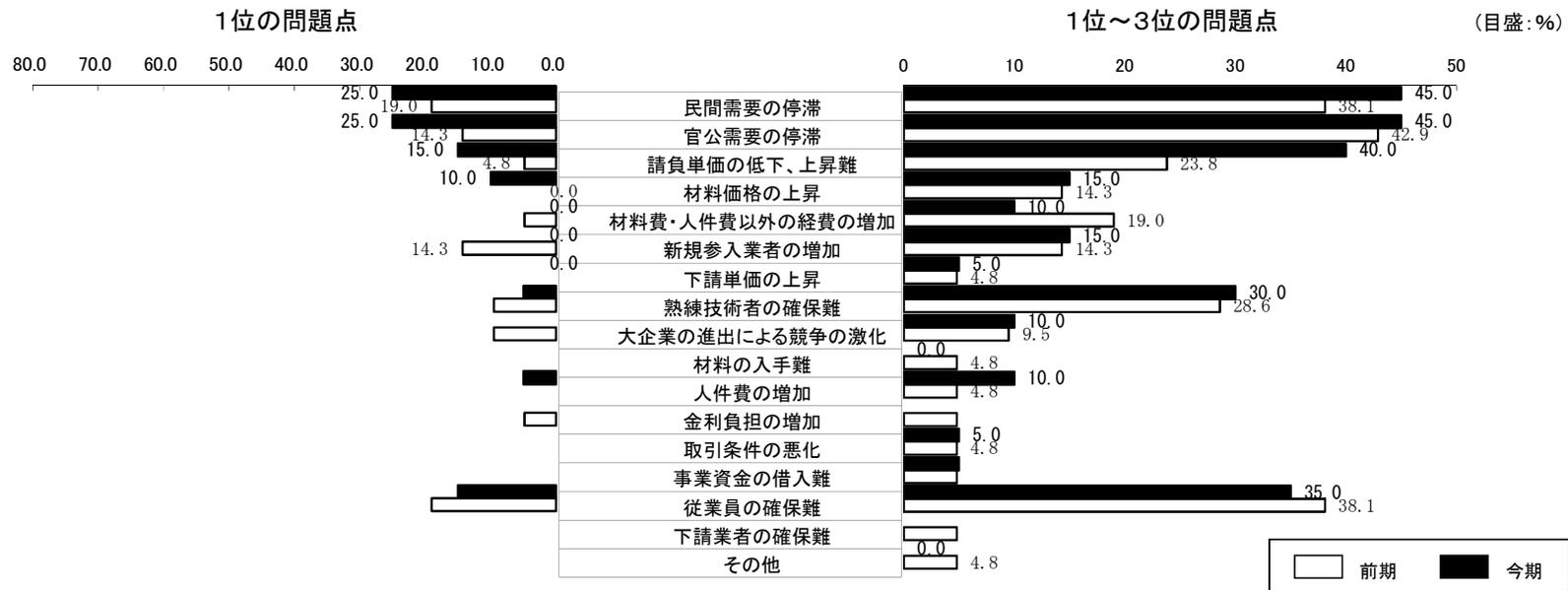


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小 売 業 の 推 移

## 売 上 高

<今 期>

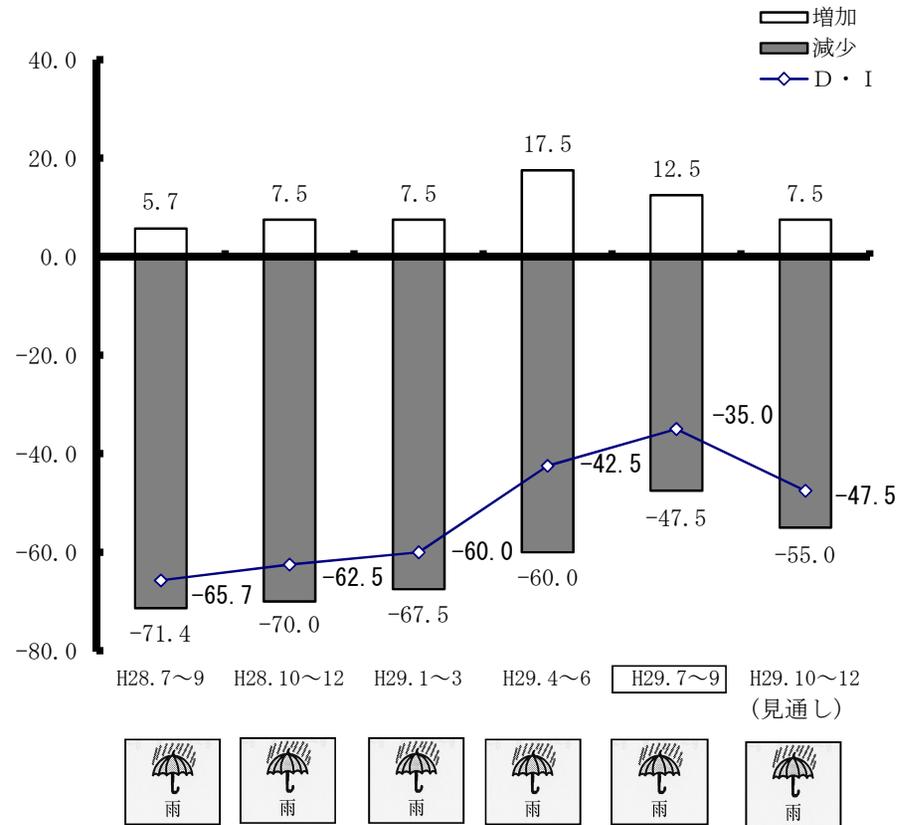


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が減少したものの、売上高減少企業の割合も減少したことにより、売上高D・Iは4期連続の改善となり、△35.0まで上昇しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合の減少と売上高減少を予想する企業割合の増加により、売上高D・Iは、悪化に転じる見通しです。



# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

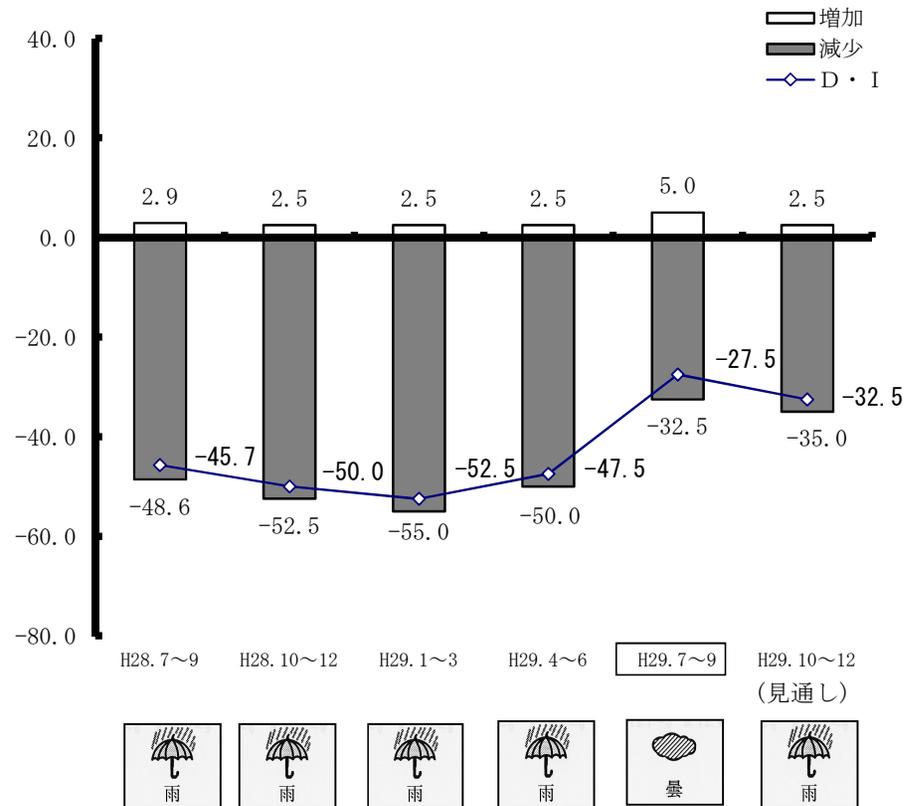


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が小幅に増加し、採算が悪化した企業の割合が大幅に減少したため、採算D・Iは20.0ポイント増加してマイナス幅を縮小し、△27.5まで改善しました。業況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が減少し、採算の悪化を予想する企業割合の増加により、採算D・Iのマイナス幅は再び拡大し、△32.5まで悪化する見通しで

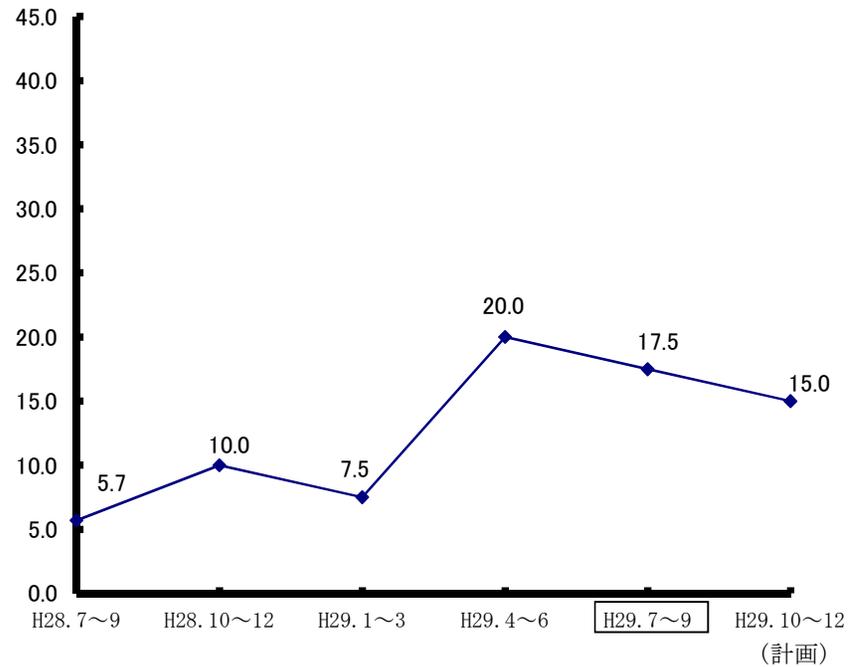


## 設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、2.5ポイント減少して17.5となりましたが、直近1年間では比較的高い水準を維持しております。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合が引き続き減少して、15.0まで低下するものと見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

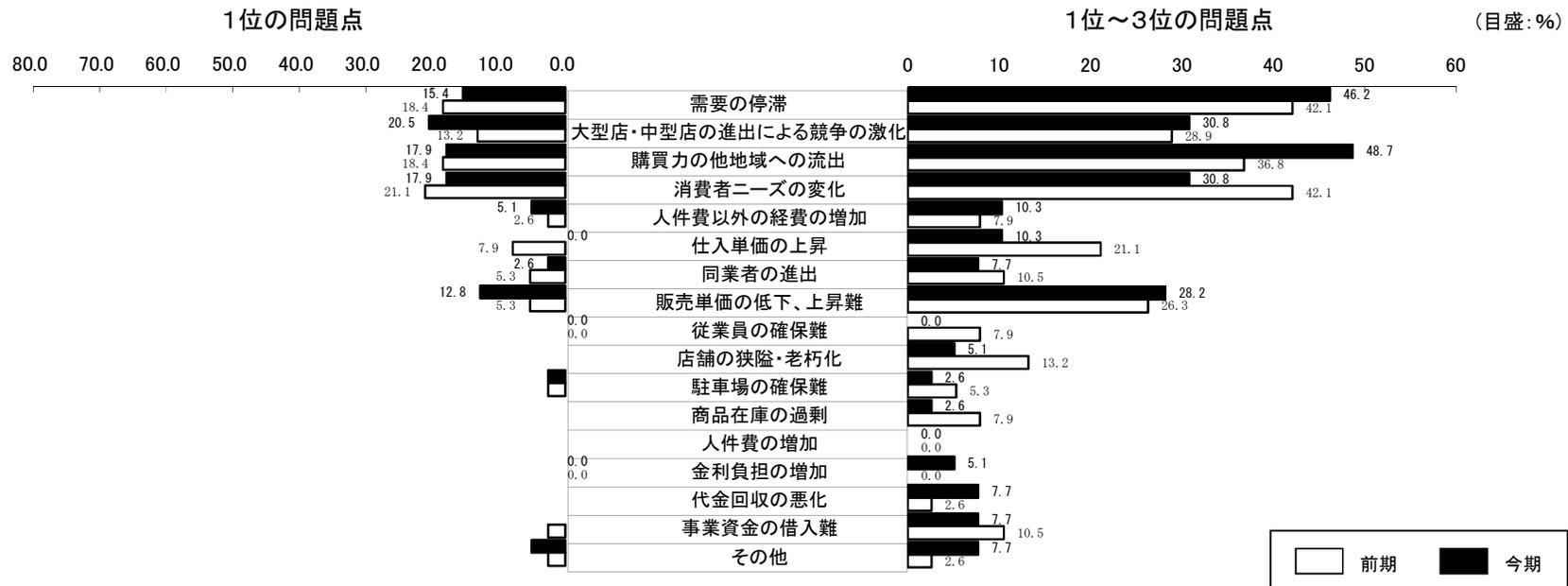


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# サービス業の推移

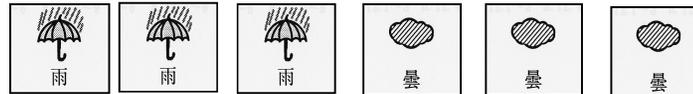
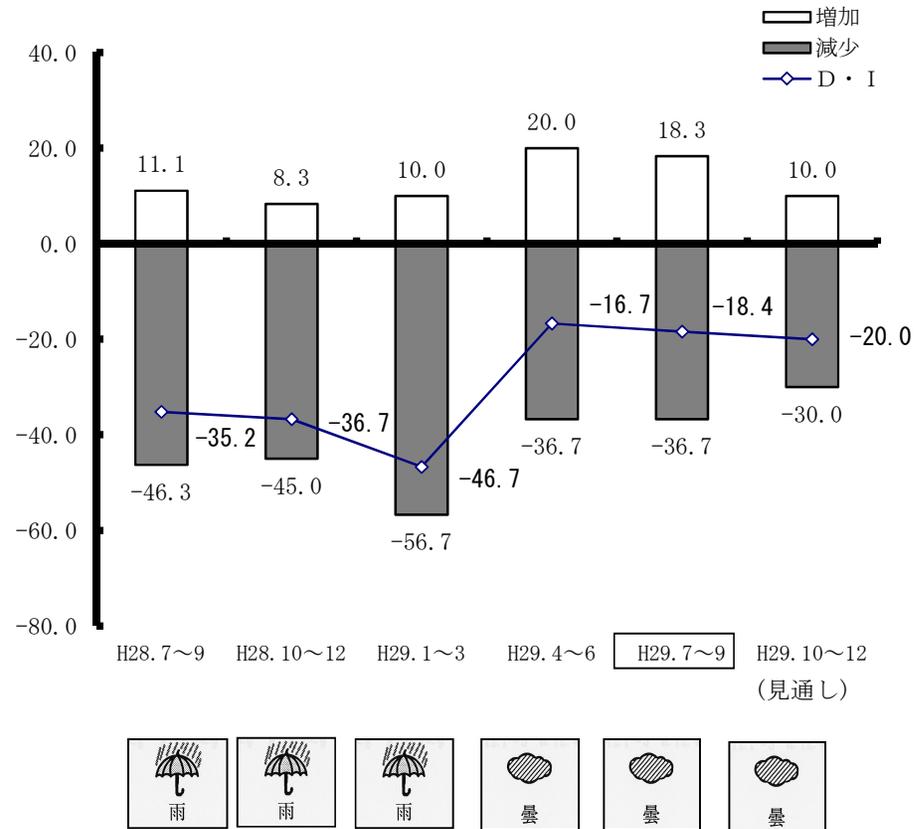
## 売上高

<今 期>      <来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が1.7ポイント減少し、売上高減少企業の割合が横ばいであったため、売上高D・Iは1.7ポイント減少し、△18.4と小幅に低下しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が減少し、売上高減少を予想する企業の割合も減少し、売上高D・Iは小幅に低下し、△20.0となる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

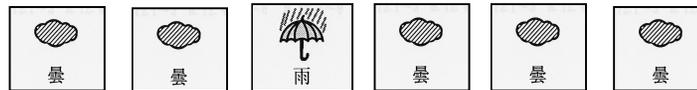
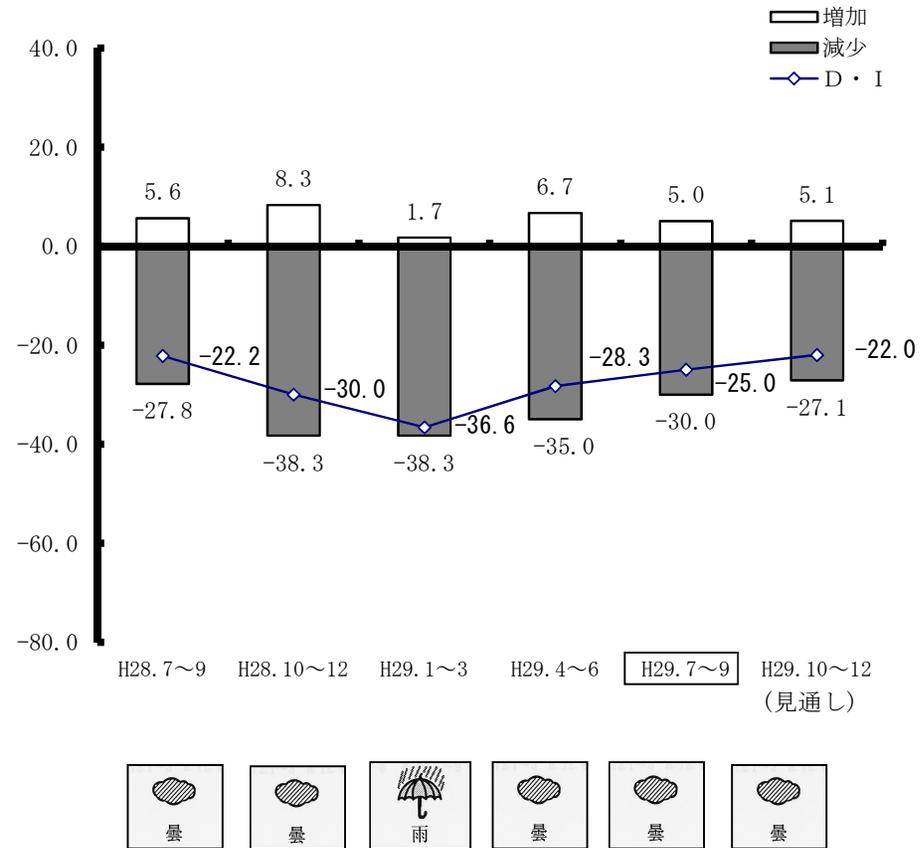


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が1.7ポイント減少し、採算が悪化した企業割合が5.0ポイント減少したことから、採算D・Iは3.3ポイント上昇して△25.0となり、小幅な改善となりました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合がほぼ横ばい、採算の悪化を予想する企業割合が小幅に減少する見込みで、採算D・Iは△22.0まで上昇し、引き続きマイナス幅を縮小する見通しです。

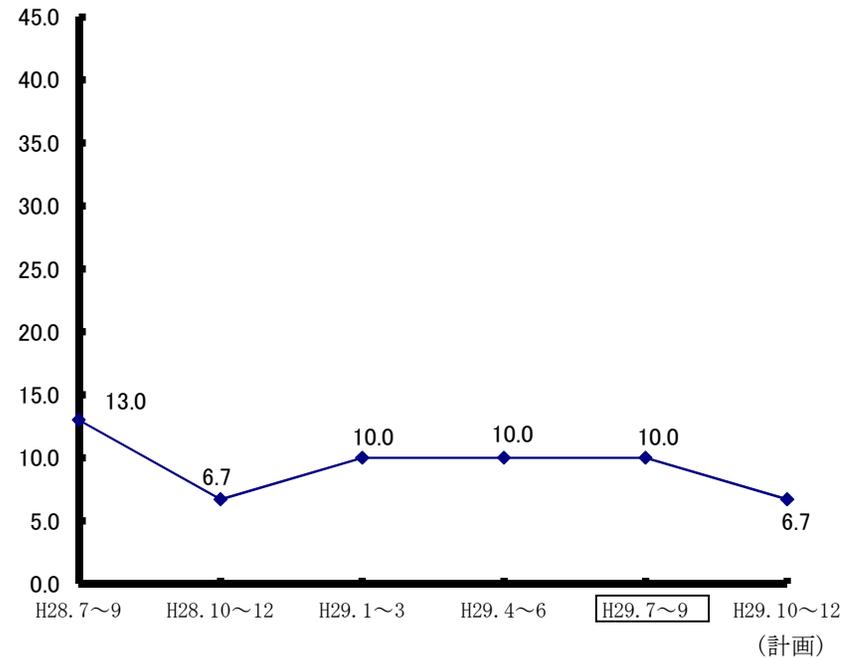


## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は前期と変わらず、10.0の水準を維持しております。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は減少が予想され、6.7まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

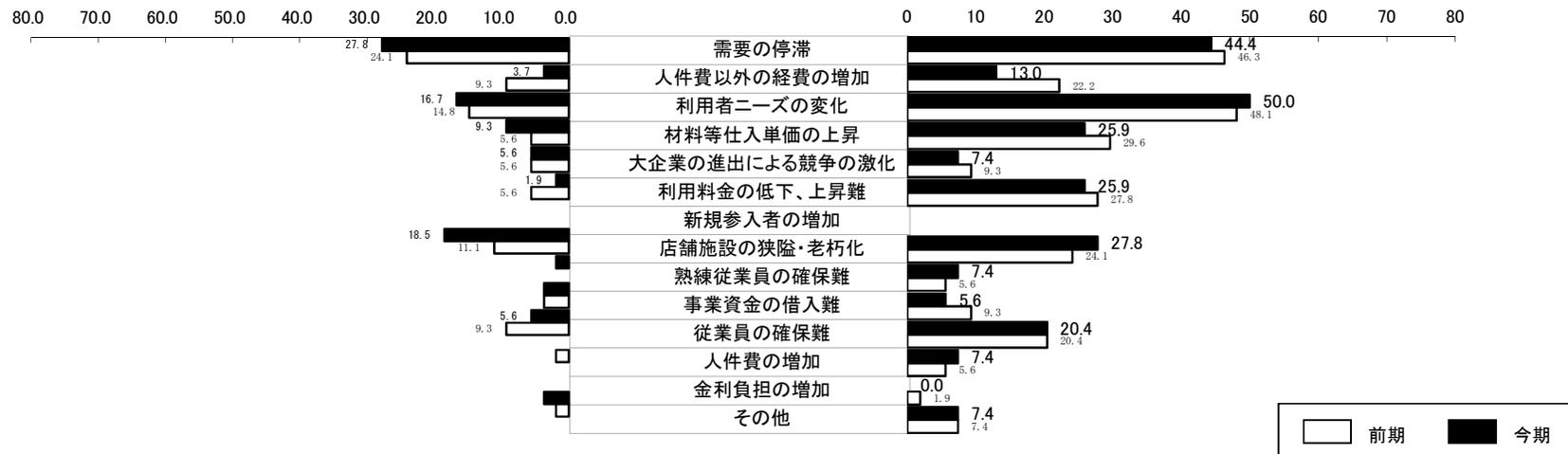
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

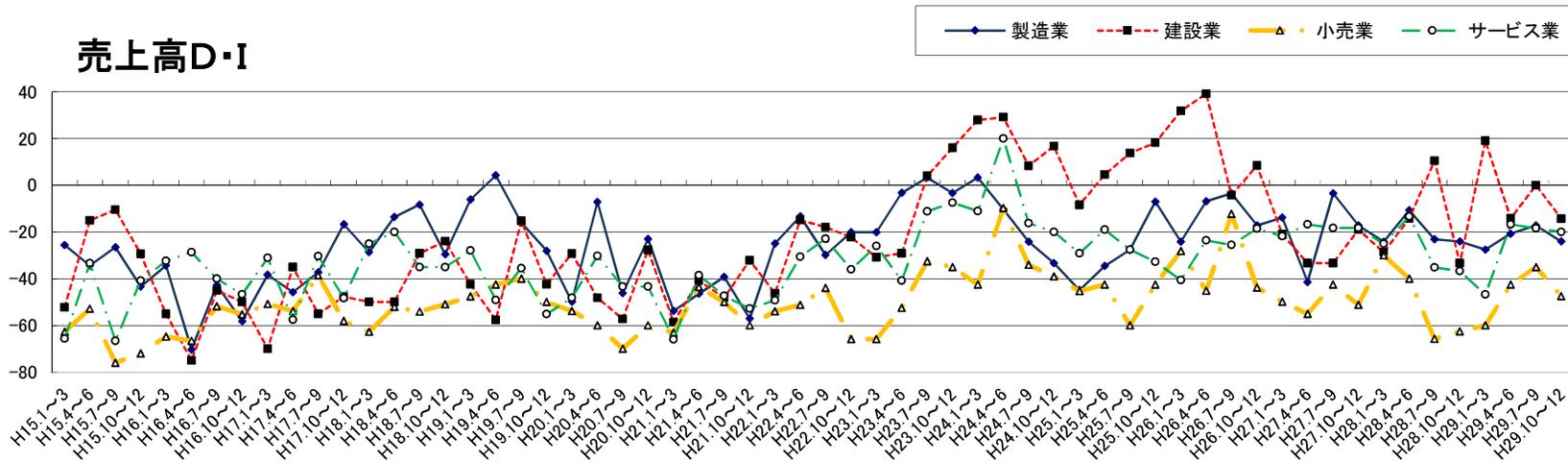
1位~3位の問題点

(目盛: %)

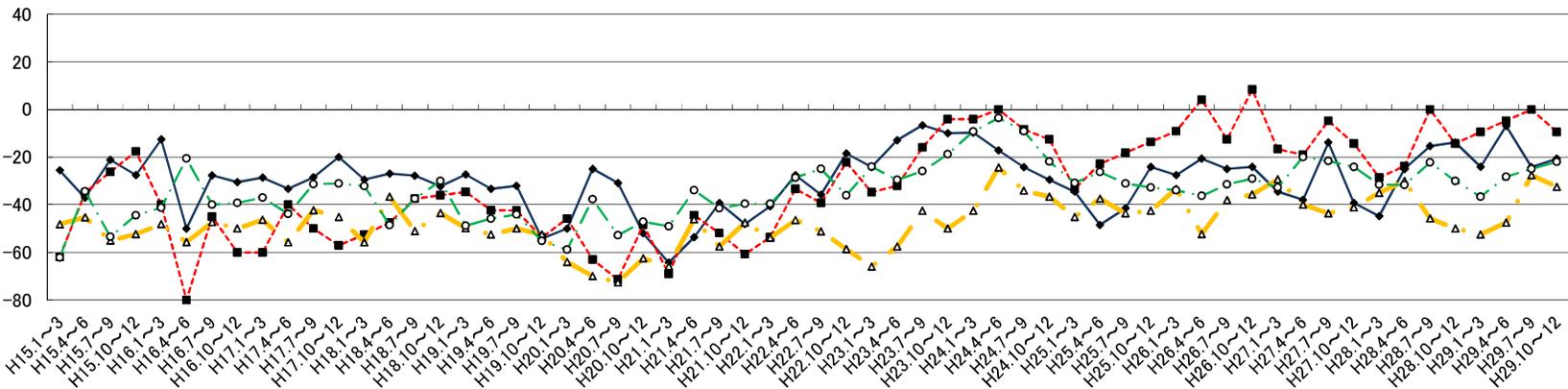


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料

## 調 査 要 項

1. 調査対象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町  
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、田野畑村、普代、軽米町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調査対象期間 平成29年7月～9月を対象とし、調査時点は平成29年9月1日としました。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

#### 4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)	29 ( 19.3 )	29 ( 19.3 )	100.0
建設業	21 ( 14.0 )	21 ( 14.0 )	100.0
小売業	40 ( 26.7 )	40 ( 26.7 )	100.0
サービス業	60 ( 40.0 )	60 ( 40.0 )	100.0
	150 ( 100.0 )	150 ( 100.0 )	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. その他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。